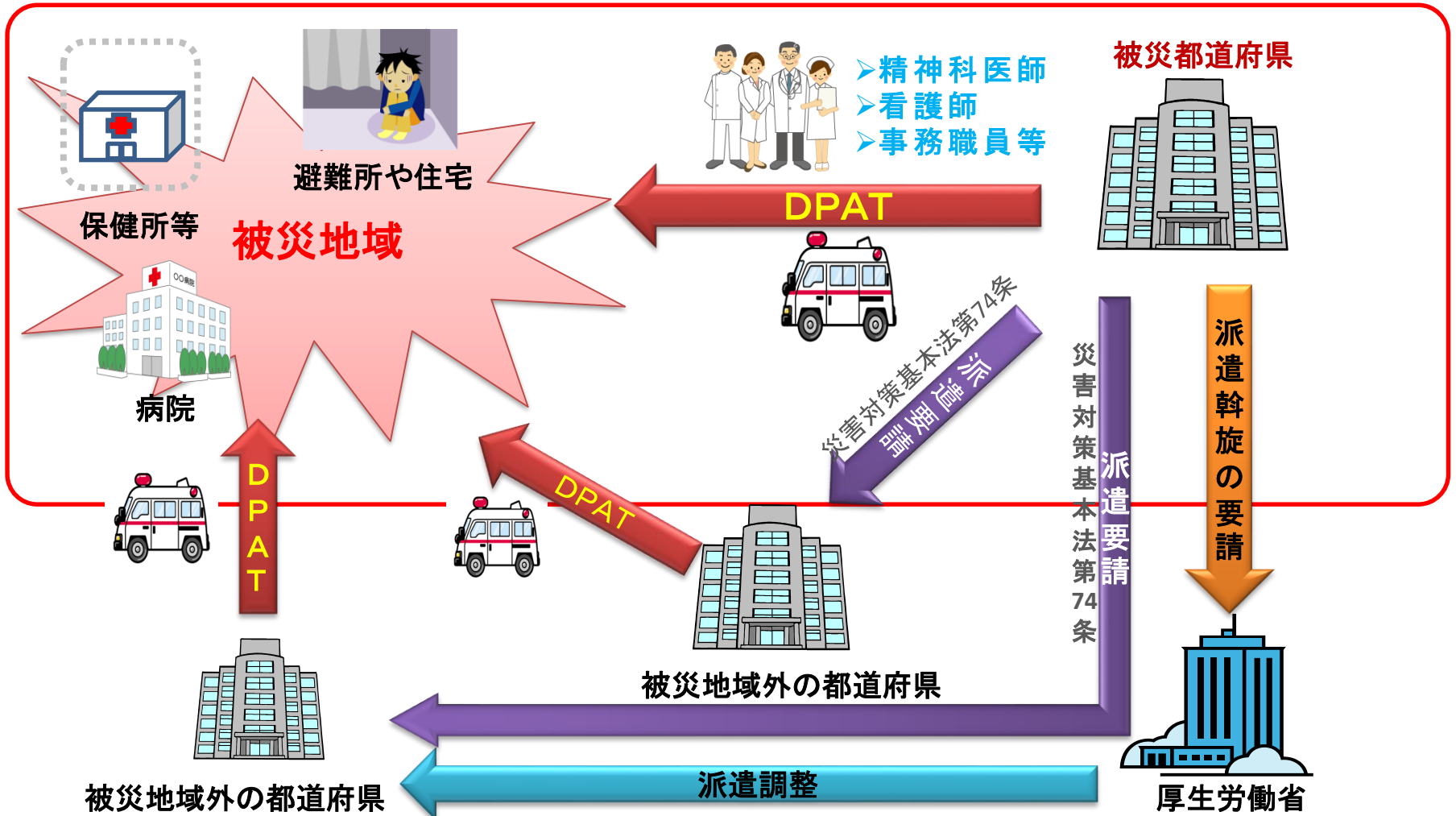
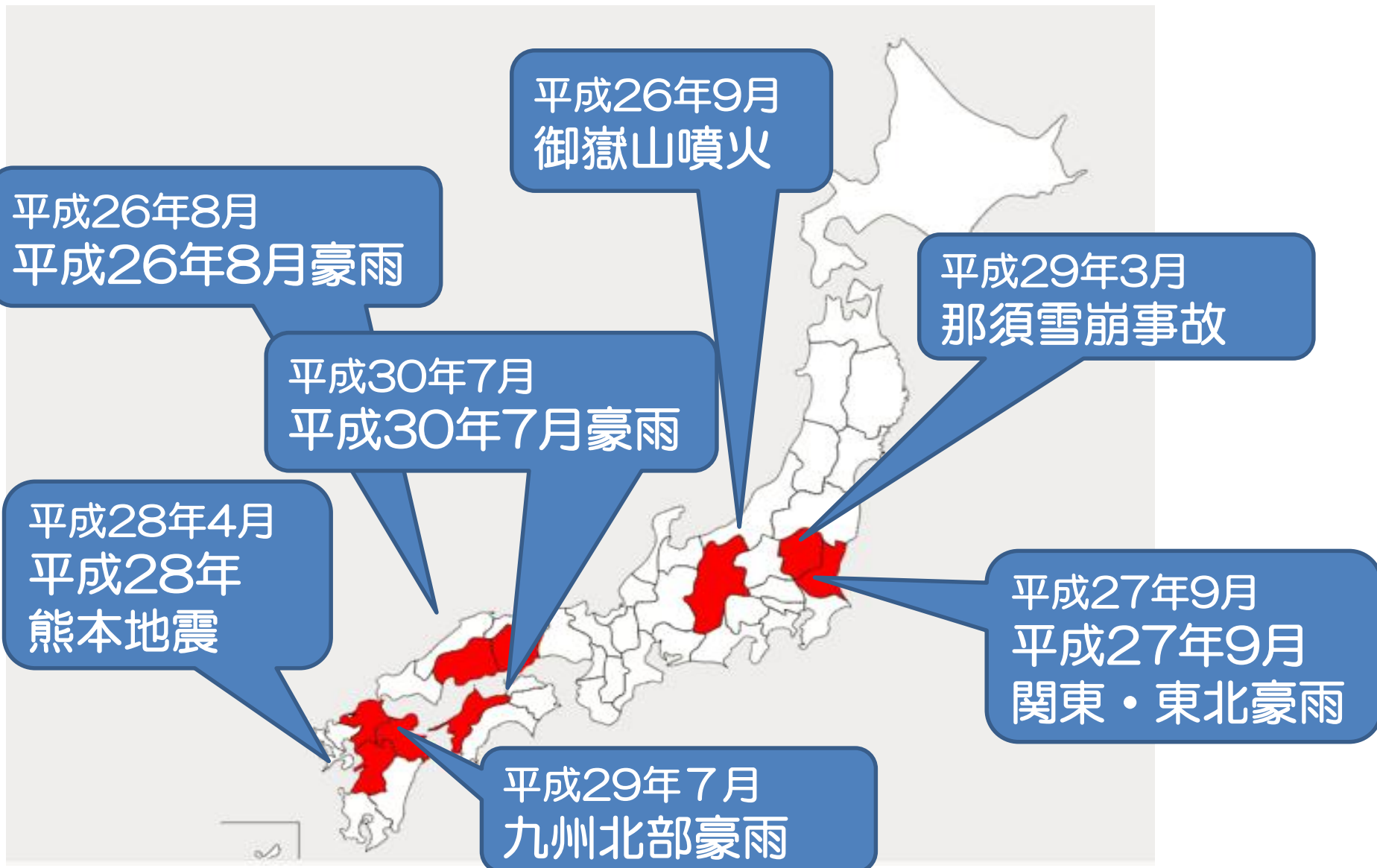


災害派遣精神医療チーム：DPAT (Disaster Psychiatric Assistance Team)

自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの大規模災害等の後、被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチーム。



DPAT活動実績(平成30年7月現在)



DPATの構造と役割

発災後48時間以内に
活動開始

必要に応じて、数週間から数ヶ月活動

単一医療機関で組織

複数機関の合同組織でも可



先遣隊



班

班

班

● 精神科医 ● 看護師 ● 業務調整員
を含んだ車での移動を考慮した機動性の確保できる人数で構成

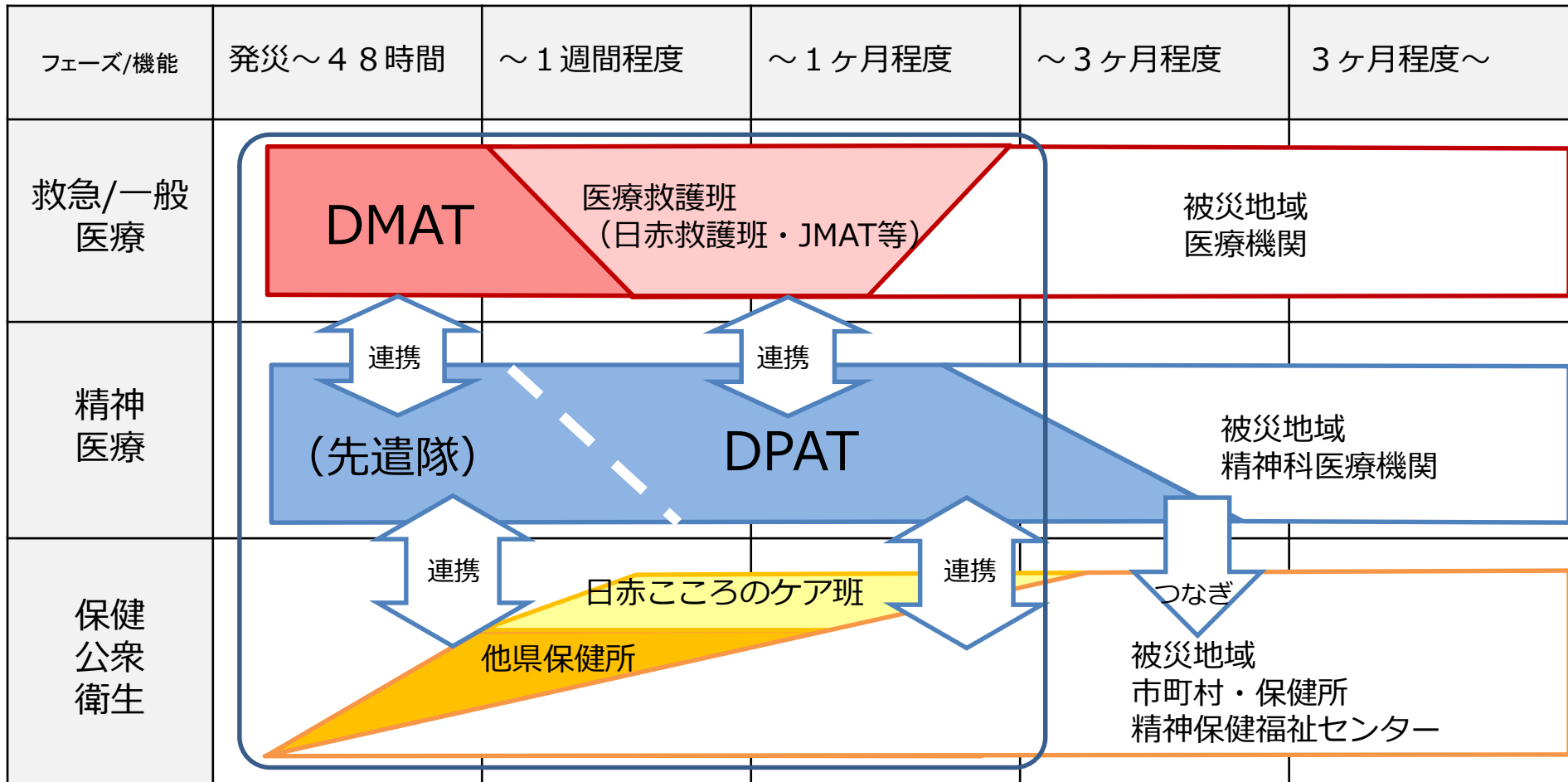
<主な機能>

- ・本部機能の立ち上げ
- ・ニーズアセスメント
- ・急性期の精神科医療ニーズへの対応

<主な機能>

- ・本部機能の継続
- ・被災地での精神科医療の提供
- ・精神保健活動への専門的支援
- ・被災した医療機関への専門的支援
- ・支援者への専門的支援

フェーズごとの災害保健医療体制



保健医療調整本部・保健所が指揮調整

↑ 応援

DHEAT

山梨県におけるDPATの体制整備の経緯

○ 平成28年 4月

DPATを熊本県に派遣

- ・ 日下部記念病院チーム
- ・ 住吉病院チーム
- ・ 県立北病院チーム
- ・ 県庁チーム

○ 平成29年12月

山梨県災害時心のケアマニュアルを策定

○ 平成30年 3月

DPATの派遣に関する協定を締結

- ・ 山梨大学
- ・ 山梨県精神科病院協会
- ・ 県立北病院

○ 平成30年 9月

DPAT活動のあり方等について研修を実施

- ・ 37名（8チーム参加）